

\*家庭・地域の教育力を高め、青少年の健全育成に努めよう。  
 \*審議会等政策決定の場へ女性の参加を促進しよう。  
 \*循環型社会をめざし、地球環境を守ろう。

# 県婦連ふくおか

## 第 55 号

発行  
 福岡県地域婦人会連絡協議会  
 〒812-0046  
 福岡市博多区吉塚本町13-50  
 発行責任者 木下 幸子  
 TEL 092-643-1440

### 『不易と流行』

福岡県地域婦人会連絡協議会

会長 木下 幸子



新年明けましておめでとうございませう。皆様方のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。

昨年はコロナ禍に加えて、ロシアのウクライナへの侵攻があり、その結果、資源価格の高騰や様々な物価の上昇等、私たちの生活は大きな影響を受けました。この先日本や世界はどうなっていくのだろうかと将来に不安を覚えた1年でした。

さて、全地婦連は昨年の創立70周年にあたることから、東京で記念大会が開催されました。合わせて全国地域婦人団体連絡協議会から全国女性団体連絡協議会に名称を変更されました。これは社会の急速な変化とともに、婦人会も時代に合わせて変わることが求められているため、その一つとして「婦人」から「女性」への名称変更です。

江戸時代の俳人、松尾芭蕉は「不易流行」という俳諧理念を残しましたが、これはいつまでも変わらないものの中に新しい変化を取り入れることを指す言葉です。また、新しさを求めて変化すること自体が、世の常であるということも指しています。

この「不易流行」を私たち県婦連に当てはめて考えたとき、「不易」とは何でしょうか。「いつまでも変わらないもの」とは何でしょうか。婦人会は長い歴史の中で常にその時々々の問題と向き合ってきました。創立時から連絡と受け継いできたその精神(心)や姿勢は今後も変わることはありません。まさしく不易です。

一方で「流行」とは何でしょうか。「新しい変化を取り入れること」、「新しさを求めて変化すること」とは何でしょうか。いろんな答がありますが、正解は一つではないと思います。県婦連は、会員数の減少など、組織にとつてかつてないほど難しい状況に直面しています。この状況を要えていくための「新しいもの(こと)」が必要なのです。

歴史ある婦人会を次代に繋ぐためにも、新しい仲間を加え、明るく元気に、そして何より楽しみながら、この答えを見つけていきましょう。本年もどうぞよろしくお願いたします。

### 令和4年度 福岡県地域婦人会連絡協議会総会

期日 令和4年6月1日(水)

場所 博多サンヒルズホテル

3年ぶりに「組織の充実強化と男女共同参画社会の実現をめざす婦人会活動」のスローガンの元、多くのご来賓のご臨席のもと、地域婦人会連絡協議会が開催されました。コロナ禍中、3密に気を付けながら、無事終了することができました。午後からの研修は「地域を守る八幡神社とは何か」を久留米大学名誉教授 大矢野栄次様にご講演をいただきました。

#### はじめに

大矢野先生は経済学者でもあるが、日本の歴史にも詳しい。特に九州王朝説にはファンが多いものです。先生の考え方は「歴史は経済を映す鏡である」と、歴史の大切さを話されます。県地域婦人会連絡協議会では、課題解決のヒントを学ぶため、何が課題なのか話す中で二つ出てきました。

一、コロナとの戦いが、長期戦に入り健康に不安を抱える女性が多いこと。  
 二、ロシアとウクライナが最悪状態になり、平和に対する不安を抱いている女性が多いこと。そこで、色々な困難をのりこえられた女性のリーダー 神功皇后に、歴史の光を当てて、講演をお願いしました。

一 八幡宮とは  
 宇佐八幡宮は全国四万社余の八幡宮の総本宮。八幡様は土着神であり応神天皇の御神霊を祀る。その御分霊は、平安京鎮護のため、石清水八幡宮と源頼朝が創建した鎌倉の鶴岡八幡宮が知られている。

応神天皇の御神霊が、欽明天皇三十二年に、宇佐の地に勧進となり御示願され、神龜二年、聖武天皇の勅願により現社地に御殿が造立され、八幡神を奉祀され宇佐神社が創立された。一ノ宮には八幡神(応神天皇)、二ノ宮には妻・仲姫命、三ノ宮には母・神功皇后が祀られている。



神功皇后とは  
 神功皇后は、日本書紀には息長帯媛という一七〇年頃〜二七〇年頃に存在した人物とされ応神天皇を助け、一〇〇歳で死去したといわれている。神功皇后は仲哀天皇の后であり、仲哀天皇が筑紫の香椎宮で神の怒りに触れて急逝した後、神の意を受け応神天皇を懐妊したまま新羅討伐を行ったという勇猛果敢な女性である。その際に、八本の旗を祀り勝利祈願をしたところから八幡様と名が付く歴史があった。

また、武内宿禰と組んで強引に我が子を帝位に就けて権力を手中にするという知略に長けた人物である。巫女的な能力も兼ね備えていたためか逆に、非常にカリスマ性の高い女性として古事記や日本書紀では絶大な人気をもった特別な存在であるとして取り扱われている。

一 まとめ 地域を守る八幡様とは何か  
 八幡様への願いは、勝利祈願、子孫繁栄、安産祈願、縁結び、商売繁盛、出世開運などたくさんあります。神功皇后の生き方をみれば困難に当たり、だれかが助けてうまくいっている。「すべてがうまくいく知略を女性は持っているのです」地域の中心に女性がいます。それを見守るのが八幡様であった。



### 3年振りの博多どんたく

令和4年5月3日

お天気に恵まれ、楽しく踊ることが出来ました。コロナの為、踊りの練習不足だったのが反省です。おまつりは心も体も元気になり、心豊かになりました。沿道には沢山の観客が見えたので嬉しく楽しい一日でした。



### 令和4年度(二〇二二年)受賞おめでとうございませう

総務大臣賞(消防関係)  
 福岡県女性防火クラブ  
 副会長 池田穂波



那珂川市  
 功労者表彰  
 (個人・団体)  
 池田穂波  
 那珂川市婦人会



### 3年目の雑感

事務局長 藤田 益彦

若い頃、人生には3つの坂があると教わりました。それは「上り坂 下り坂 そして まさか」です。つまらないダジャレのようですが、振り返るとまさにこの3つの連続であったように思います。この突然やってくる「まさか」は3年前、県婦連に事務局長としてお世話になった当初から今に至るまで、十分に活動できなかったというまじかコロナ禍が続いています。これに加えて私自身の力不足で、皆様のお役に立てず申し訳なく思っています。これからは、私自身が「まさか」の存在にならないようにしっかりとお手伝いをさせていただきたいと思っていますので、宜しくお願いします。最近、人生の3つの坂以外にも4つ目の坂があることに気がつきました。それは「弥栄(いやさか)」です。末筆ながら、婦人会の末永い弥栄をお祈りします。

### 第47回九州地区地域婦人大会 全国女性団体連絡協議会ブロック会議

日時 令和4年11月24日～25日  
場所 ホテル&リゾート別府湾

大会テーマ「心の通いあう地域づくり」  
第1分科会 組織の問題

テーマ 若い世代が伝えたいこと  
大分県日出町豊岡地区婦人会から、大学生と協働しながら、地元の歴史や自然などの地域の特色を学び直し、子どもや若い世代に「学ぶ機会」を提供しようという取り組みの報告がありました。

櫻井会長からは、会員増加のための働きかけをされました。助言者からは、いつものメンバーで定例的なことをしているだけではダメ。若い人、男性、子どもと繋がる。奉仕だけではなく会のメリットを取り入れる。今の形にこだわらず、取り組みを継続し発展させていくことが大事ではないかと話されました。

#### 第2分科会 教育の問題

テーマ「愛し・愛される」島くじり  
姫島婦人会では結婚をしたら全員が婦人会員になるという事で、会員は300人とのこと。

「キツネ踊り」はテレビで毎年放送されて、婦人会は子供達のお化粧を担当しているとのことでした。伝統を守る一担になっていきます。海に囲まれた小さな島で、川がなく米がとれないとのことでした。特産物はひじきで、小中学生の意見を聞きながら「ひじきかりんとう」を作っているとのこと。試食品がテーブルに置かれていました。また毎年「アサギマタラ」の休息地ということでした。

他県との6名グループで自己紹介から始まり会員の減少が問題だとこの県からも意見がでました。

#### 第3分科会 環境の問題

テーマ 家庭で取り組み地域に広げるごみ減量の輪  
地域団体や地元住民とのつながりで進めるSDGs  
①身の回りの環境問題②若い世代とつながるためのアプローチ方法はどうあればよいか③住民間の学びあいの場をどう作っていくかを討議のねらいとして質疑応答をしました。

SDGsの中で一番興味があったのがゴミの減量の問題だったが「ゴミは宝である」という意識をもつて子どもたちにもゴミは資源であるという教育をするということも若い世代が家電や古着はメルカリで売るということをやっていることを知り、使いかたを若い世代に教えてもらうことで世代交流を進めていくのも良いとアドバイスがありました。

### 令和4年度福岡県女性防火クラブ研修会

日時 8月17日(水)  
会場 久留米総合庁舎

女性防火クラブの名称を入れて開催され、81名の参加中51名が女性でした。男性の方もこんなに多くの女性が参加した事に、とても喜んでおられました。この研修会は地域とのつながりが希薄化する現在、災害による被害を予防し、軽減するための防災リーダーを育成することを目的に行われています。

リーダーは、平常時からリーダーとして地域で中心となり活動することで、災害時に先頭に立って地域の防災活動を主導することが出来ると言われました。

グループワークで避難所運営ゲーム(HUG)等も行いましたが、平時から一人でも多くの人たちに防災の取組みに参加してもらえようように声かけすることが大切だと感じました。

### 九州・沖縄ブロック幹部地域研修会

日時 10月19日(水)～20日(木)  
場所 唐津市呼子公民館

会場の公民館は中学校跡地に建てられており、災害時には避難所としても活用するため、女性ならではの視点で工夫がされていました。研修会では唐津市危機管理防災課職員による講演の中で、段タンポールの簡易ベッドの組み立て実技も行い、有意義な研修となりました。翌日には玄海原子力発電所の関連施設である玄海エネルギーパークを視察しました。老若男女が訪れる施設のため、物理学の知識がなくとも原子力発電の仕組みと災害時の安全性をいかに確保しているのかがよくわかりました。来年度は福岡県での開催となります。



### 全国女性防火クラブの集いに参加して

日時 令和4年10月27日～28日  
場所 東京ホテル・ルポール麹町

コロナ禍の影響で3年振りに開催されました。住宅用火災警報器は平成16年の消防法改正により、全ての住宅に住宅用警報器設置が義務付けられました。令和3年度現在、設置率は84%で住宅火災及び住宅火災死者数が大幅に減少したそうです。

あなたの家の警報器大丈夫？  
令和3年6月に既存住宅の住居の設置義務化期限から10年が経過。住宅用火災警報器の点検・交換等の適切な維持管理に向けた取組を推進していく必要があります。

住宅用火災警報器は火災を検知するために常に作動しています。設置から一定期間(概ね10年)以上経過したものについては、電池切れ他、本体内部の電子部品の劣化が考えられることから、本体交換することが望ましいという事です。

女性防火クラブ員として、このことを会員・他地域の方々にお知らせしていきます。

### 10年たったら、とりかえろ。

お宅の火災警報器の話をです。  
火災警報器は大切な家族の暮らしと命を見守ります！



お宅でも診断してね！

### 移動定例委員会

日時 令和4年10月7日(金)  
場所 久留米市田主丸町

耳納連山の麓、農道だった道を「山苞(やまづと)の道」と名づけ、人と自然の営みを大切に散步道やバスを通りながら「横溝会長」から「田主丸」の概要を聞きまし。

「ミカン」や「巨峰」の発祥の地であり、「資生堂」山川食糧、ダイハツ、あわしま堂などの企業誘致も行われているとのことでした。

昼食は食事処「夢キッチン」で地元の野菜を使った手作りによる「バイキング料理」をおいしく戴きました。



午後はステンドグラスで彩られた「紅乙女耳納蒸留所」を見学。その後「田主丸そよ風ホール」で田主丸町婦人会の活動をパワーポイントを使って説明された。交通渋滞により大幅に予定が変更になり、お世話いただいた田主丸婦人会の方々には大変ご迷惑をおかけいたしました。暖かいおもてなしありがとうございました。

### 交通安全母の会連絡協議会の活動

- 1. 総会  
日時 令和4年6月16日(木)  
場所 県婦連会議室  
参加者 10名
- 2. 第60回子どもの交通安全大会  
日時 令和4年7月14日(木)  
場所 ながまハートホール  
出席者 31名
- 3. 令和4年度飲酒運転撲滅県民大会  
日時 令和4年8月25日(木)  
場所 北九州国際会議場  
参加者 30名
- 4. 秋の交通安全フェア in 久留米  
日時 令和4年9月21日(水)  
場所 久留米シティプラザ六角堂広場  
参加者 38名
- 5. 福岡県交通安全大会  
日時 令和4年11月15日(火)  
場所 福岡国際会議場  
参加者 52名
- 6. 交通安全母の会リーダー研修会  
日時 令和4年12月12日(月)  
場所 小倉北警察署  
参加者 17名





### 複十字シール運動

運動期間 8月1日〜12月31日

昨年引き続き、新型コロナウイルス感染症の収束が見込めない状況の中、公益社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会の皆様には感染予防にご留意の上、複十字シール運動にご協力をいただきましたことを、心より感謝申し上げます。

2020年に新たに結核と診断された患者数は12,739人で、2019年の14,460人から大幅に減少しています。しかし、コロナ禍による受診の控えや健診の中止などにより、結核の診断の遅れによる重症化も懸念されています。結核もコロナウイルスと同様に、重大な感染症です。結核についてより多くの方に知っていただき、徹底した予防と確実な治療の大切さについて、複十字シール運動を通して伝えていきたいと思えます。



### 第52回九州地区結核予防婦人団体幹部講習会

日時 令和4年11月25日(金)  
場所 ホテル&リゾート別府湾

結核はまだ現代の病気です。世界の結核をなくさなければ日本の結核はなくなりません。2021年結核登録者情報調査集計新登録患者数11,519人、罹患率9.2、死亡者数1,845人、死亡率1.5です。



### 全日本赤十字大会

日時 令和4年5月19日(木)  
場所 明治神宮外苑ホール11時〜12時

日赤功労者へ、雅子妃殿下による感謝状授与されました。紀子様、信子様、久子様ご臨席の下開催されました。(安河内出席)

### 世界赤十字デー・ポラライズDAY2022の取組み

福津市赤十字奉仕団

世界赤十字デーや日本赤十字社の創立記念日など五月は赤十字運動強調月間です。街の環境を守るうと西郷川沿いに紫陽花を植え、「あじさいロード」と名付け、五月は草刈り、七月は花殻摘み、十月は下草刈りや施肥を行っています。昨年まではコロナ禍にて、参加団体を制限していましたが、今年はいくま郷づくりの会やシルバー人材センター、市長、市役所職員の方々に参加いただきました。



紫陽花の花言葉である「元氣な女性、辛抱強い愛情、一家団樂・家族の結びつき」を大切に福津市の女性を象徴する紫陽花の花をこれからも守り続けていきます。

### 遠賀町婦人会

五月晴れの気持ち良い一日、外来種「オオキンケイギク」の駆除をしました。「コスモスに似た橙色のお花です。株が大きく繁殖力がとても強いそうです。戸切川の河川敷沿いを根っ子から引き抜きました。可愛い花なので少し心が痛みました。環境保全の為、来年度も引き続き駆除を続けたいと思います。



### 金融トラブルについて

令和4年6月7日、定例会のあと、定例研修会が行われました。福岡県財務支局福富明彦様に、特殊詐欺や見えないお金などのトラブルについてご講演をいただきました。

「2682億円」何の金額だと思いますか？これは令和3年の特殊詐欺の被害額です。被害者の88%が高齢者であり、そのうち女性が78%、男性が22%です。手口別に見ると「預貯金詐欺」「キャッシュカード詐欺」「オレオレ詐欺」「還付金詐欺」です。詐欺は誰になりすまして近寄るのか？息子や警察官、市役所や役場職員を名づけて電話してきます。

### “電話でお金はすべて詐欺警察へすぐ110番通報”



10月2日 北九州市の西日本総合展示場本館で、3年ぶりにそれぞれの団体が趣向を凝らしての開催になりました。昨年は、コロナの為、動画での開催となり、今年は昨年の動画を生かしつつ、健康についての相談、測定が無料でできるブースが勢揃いです。地域婦人会のブース横に「食」に関する3団体が並びました。昨年と同様、「地場産を使った幸せお裾分け」というタイトルで、郷土料理・家庭料理等の写真に説明を加え展示しました。北九州名物の「おきゅう」と「鶏のすき焼」「つくしの卵とじ」「ぬかみそ炊き」「ふなやき」等々。見に来て下さった方には、婦人会独自のアンケートを準備し、筑後地方の130年の歴史を持つ黒棒を提供しました。50枚準備したアンケートの結果を紹介いたします。

- ・地域婦人会連絡協議会という団体を初めて知りました。地産地消に興味があるので良かったです。
- ・夫が糖尿病になっちゃった。私の責任だと自覚しました。
- ・いろいろなブースでアイデアを凝らしていると感心しました。
- ・メキシコのことばに料理は家族の心を一つにする、とありました。私たちの活動も心が暖かくなる、元気の素となる様に頑張っていきたいと思えます。

### 第21回健康21世紀福岡県大会開催

運動期間 8月1日〜12月31日



# 地域だより

## EMボカシ作り

田主丸町地域婦人会

今年も例年通り、会員の方々に人気のあるEMボカシ作りを実施しました。  
 コロナの事を考慮して、午前の部と午後の部の二つのグループに分けて作り、参加者の皆様に喜んでいただけた。

### 参加された方の声

●色鮮やかで甘みもあり、安全・安心で食することが出来ます。  
 ●野菜作りを使い、野菜をもらった人から「おいしい」と言われ、本当に有り難うございました。

●野菜・果物が甘くておいしいと評価されるし畑もホクホクです。  
 ●昨年は婦人会で作ったEMボカシが大活躍で、子ども達に美味しい野菜を届けることが出来、喜んでもらいました。今年も楽しみにして参加しました。

●野菜、果樹、花に与えて、甘くて美味しく育つ日を楽しみにしております。



令和4年5月8日に総会を実施し活動を始めようとはり切っておりましたが、「コロナ感染者数」が減少せず施設が使用出来なかつたりイベントが中止したりと行事が実行出来ない中、地域で出来ることをと土居婦人会は「公民館清掃」を請け負ったり「桂川町」に入ってくる人に良い印象をと「県道の草取り」を実施したり「赤い羽根共同募金」に立つことを決めたりとあまりに密にならず実行出来ることを考えて実施しています。また笹尾地区は登校時の「朝立ち」や「アンビシャス教室」の見守り等を継続して実施しています。全体としては9月25日に「福祉のつどい」があり

## 令和4年度 婦人会活動について

桂川町婦人会

令和4年5月8日に総会を実施し活動を始めようとはり切っておりましたが、「コロナ感染者数」が減少せず施設が使用出来なかつたりイベントが中止したりと行事が実行出来ない中、地域で出来ることをと土居婦人会は「公民館清掃」を請け負ったり「桂川町」に入ってくる人に良い印象をと「県道の草取り」を実施したり「赤い羽根共同募金」に立つことを決めたりとあまりに密にならず実行出来ることを考えて実施しています。また笹尾地区は登校時の「朝立ち」や「アンビシャス教室」の見守り等を継続して実施しています。全体としては9月25日に「福祉のつどい」があり

「moltio ひょうご」事務局長「栗木剛氏」による「コロナに負けるな！令和時代のつながり方を考える」という講演を開きました。



コロナの制約が解除されたことにより10月29日〜30日に3年ぶりに「文化祭」が開催され、まだ制約はありませんが「パザール」を開催できるようにになりました。「がん制圧」のつどいや「1日研修」「レクリエーション」等婦人会独自のイベントや研修が実施出来ることを期待しております。

## 「VR防災体験」をしました

福岡市地域婦人会

福岡市民防災センターにて、火災発生時の煙からの避難や水消火器での消火訓練、震度7の地震体験をしました。

疑似体験ですので、みんな何とか体験出来ましたが、実際に災害が起こった時にはパニックに陥ること必須だと感じました。

今まで、災害時の炊き出しや備蓄品についての学習が行ってききました。福岡市は大きな災害はありませんが、何時発生するか分からない災害に対して、疑似体験出来たことはとても有意義でした。

福岡市地域防災計画の中に、赤十字奉仕団や婦人会の役割が明記されています。平日頃から、研修会や講習会を開催し、少しでも市の役にたてるよう知識や技術を身につけたいと更に強く思いました。



## 私たちの活動

添田町婦人会

コロナ禍にあつて、私たちの活動も中止や、見直し求められています。そうした中、なんとか、継続して行っている活動をいくつか紹介します。

一つは、町内の小中学校の児童・生徒への声かけあいさつ運動です。この活動は、取り組んで35年になります。毎月、第1・第3月曜日に始業式・終業式に会員が各学校の校門前に立ち「おはようございます」と声をかけています。今では子ども達の方から先にあいさつをする光景が見られるようになりました。また、数年前から、生徒会がこの活動に参加するなど活動の輪が広がっています。まさに、「継続は力なり」です。

二つ目は、一人暮らしの高齢者への声かけ活動です。月2回4回、会員が対象の高齢者宅へ訪問し、声かけを行っています。夏場は「熱中症にならないように、水分を取って下さいね」とお茶を配布しています。また、一昨年より準備を進めて、着物と帯のリサイクルで、めがねも入るようにと、少し大きめの素敵なマスクケースを作りました。今年も声かけ対象の皆さんと高齢者施設に配布しました。

三つ目は、主催事業ではありませんが、5月に「英彦山を美しくする会」主催の英彦山神宮周辺や英彦山キャンプ場周辺の清掃活動に参加しました。

また、まだコロナ感染症の終わりが見えませんが、予防対策をとりながら、これからも地域や高齢者の皆さんとのつながりを大切にしながら、会員の皆さんが心豊かになれるような活動を工夫しながら、続けていきたいと思っています。



添田中学校 校長 生徒会と一緒に

## 第29回まつり岡垣に参加して

令和4年10月16日快晴 岡垣町婦人会

今年3年ぶり「まつり岡垣」が町の中心にあるサンリーアイという文化教養の発信地で開催されました。

屋外では600席を持つハミングホール、運動施設を持つウェーブアリーナ、その他、図書館などがあり中庭の芝生の上では出店42店舗、フリーマーケット、キッチンカーなど私たち婦人会も350食のおにぎりとお茶を販売しました。屋内では精華女子のマーチングや岡垣中、地元の吹奏楽団の演奏等とても盛大でした。

私たち婦人会は歴代まつり岡垣の副会長として実行委員の皆さんとまつり岡垣を盛り上げ婦人会の存在を大いに表わしている所です。自然が沢山の岡垣町で、私たち婦人会はこれからも楽しいまつり岡垣が続くように町の手伝いをして行きたいと思っております。



## 編集後記

コロナ禍の中で今年も発行することが出来ました。皆様の参考になればと思います。

### 編集委員

- 池田穂波、川野栄美子、安河内浩子、廣石福子、横溝敏子、矢野八重子、古場弘子、池田博子